

在籍学級と校内との連携について

不登校生徒の状況

対象生徒は、中学 2 年生であり、小学校卒業時には不登校で、中学入学直後は登校していたが、5 月頃から欠席が増えていった。3 学期には約 50%の出席率であったが、今年度になってから校内別室に、ほぼ毎日登校できるようになった。また、2 日間にわたる校外学習においても、両日とも参加することができた。

具体的な取組

○校内体制の教化

校内体制（週 1 回の校内委員会を開催）を強化し、情報共有や連携を密に行っている。校内委員会のメンバーは、管理職・不登校担当教員・養護教諭・特別支援コーディネーター・通級担当教員・特別支援教室専門員・SC・SSW等である。

○校内別室の開室

校内別室を円滑に運営している。月曜～金曜、全ての曜日で支援員がいて、1～6 校時まで開室することで、生徒がいつでも来られるようにしている。



○デジタル機器の活用

デジタル機器を活用した不登校生徒の支援を行っている。具体的には、校内別室から、オンライン授業を受講できるようにしている。一方で、一人 1 台端末に導入されている AI 型教材を活用し、学習を行う生徒もいる。また、校長面談や担任との面談もオンラインでできる体制を整えている。

○在籍学級との連携

在籍学級と校内別室と通級の連携を行った。校外学習においては、不登校生徒の友人関係を考慮した班を編成した。校外学習に 2 日間とも参加し、事後学習も行うことができた。親しい友人を起点に、学級の友達との関係も構築できるようにして、徐々に在籍学級へ行けるように支援している。

成果

本校の不登校出現率は 6.79%で、東京都の平均を下回ることができている。特に新規の不登校生徒の出現率は 1.75%と低く抑えることができている。また、「学校内外で相談・指導を受けていない生徒 0 人」を続けることができている。

課題

不登校出現率（継続）が 5.04%と高いことが課題である。減少させられるように、学校全体で居場所づくり等に取り組んでいく。